科目名：公衆衛生学	必修	2単位（90時間）
（Public Health）		

履修年次/時期：2年次　後期　　授業形態：講義

主担当教員：戸田 真司

主担当教員詳細：実務経験 歯科医師25年（うち地方公務員として保健福祉分野における業務に10年間従 事）］：実務経験から地域社会の生活者である地域住民の疾病予防と健康増進を支援するために必要な公衆衛生に関 する基礎的知識が身につくとともに、地域保健活動の意義および必要性について理解が進むよう授業を行う。

担当教員名：宋 文群

学修目的	公衆衛生学は地域住民の疾病を予防し、健康を保持増進することによって人としての機能や能力を十分発揮できるようにするための学問であり、健康と予防医学の概念や人を取り巻く自然・社会的環境と健康との関係や集団を対象とした疾病予防と地域保健活動について学修する。具体的には、生活環境の変化による健康影響、健康に係わる地域の役割、ライフステージに対応した地域保健活動について修得する。 関連するCP：CP2　　科目No. KSI-201		
この科目が目的としているDP	1．医療専門職としての倫理観を有する。	（1）生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	○
		（2）医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○
	2．医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	（1）教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	○
		（2）専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	◎
		（3）社会の動向に関心をもち、学び続ける力を有する。	○
	3．健康支援を通し、全身の健康を守る看護実践能力を有する。	（1）多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	○
		（2）優しさに溢れる看護専門職として地域社会に貢献する能力を有する。	○
		（3）看護専門職としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。	○
	◎：この講義・演習・実習と最も関連があるDP ○：この講義・演習・実習と関連があるDP		
到達目標	生活環境や公衆衛生の現状を学修することで、社会生活・社会制度のもとで健康を保持増進するために必要な知識と技術を修得し、他医療職と連携をとりながら地域住民に対する疾病予防と健康増進を支援するとともに、地域社会で保健活動を実践することができる。 ① 公衆衛生の概念、疫学研究について説明できる。 ② 地球環境、食品衛生、住居環境と健康について説明できる。 ③ 廃棄物処理について説明できる。 ④ 感染症とその予防を説明できる。 ⑤ 生活習慣病とその予防を説明できる。 学校保健、職場の健康管理について説明できる。		
授業概要	公衆衛生の概念及び歴史、健康の指標、人口問題、衛生統計、疫学、医療・保健・福祉における衛生行政、労働衛生および環境衛生・公害及び公衆衛生の国際協力等について学習する。		
評価方法	学期末本試験（100点満点） 課題の実行度に応じて加点を行う。 授業中の「私語」「指示のない携帯端末の使用」「教員に断りのない離席」など、不適切とみなされる受講態度が認められる場合には減点を行う。 試験に対するフィードバックを行う際には、個別対応でなく掲示にて行う。		
予習・復習時間	【予習】2.0時間 【復習】2.0時間		
教科書	医療スタッフのための衛生学エッセンス −2025／2026−（学建書院）		
参考書	講義中に紹介します。		
オフィスアワー連絡先	戸田 真司：月～金曜日 12:00～12:50、16:00～17:00　4号館 2階（戸田研究室） toda.s@kdu.ac.jp 出張や会議などにて不在の場合がありますので、事前にメールをいただけると円滑に対応できます。 宋 文群：月～金曜日 16:00～17:00 第2研究棟 4階 口腔衛生学第1研究室 song@kdu.ac.jp 出張や会議などにて不在の場合がありますので、事前にメールをいただけると円滑に対応できます。		

実施回	第1回	実施日	2026/09/15 (火)	時限	2	班	
授業計画	健康と公衆衛生 ①健康の概念と健康増進を説明できる。 ②疾病の自然史と予防の考え方を説明できる。 ③生涯を通じた保健や福祉を説明できる。 ④健康づくり運動の変遷と現状を説明できる。	予習	教科書P1～11				
		復習	教科書P1～11				
		キーワード	公衆衛生、健康の概念、予防の3相5段階、プライマリヘルスケア、ヘルスプロモーション、QOL、健康日本21				
授業形態	講義	担当	戸田				

実施回	第2回	実施日	2026/09/16 (水)	時限	3	班	
授業計画	人口（1） ①人口静態統計を説明できる。 ②人口ピラミッドと年齢別人口構造を説明できる。 ③国民生活基礎調査を説明できる。	予習	教科書P13～16				
		復習	教科書P13～16				
		キーワード	国勢調査、人口ピラミッド、年齢別人口構造、将来推計人口、少子・高齢化の特徴、国民基礎調査、世帯数、世帯構造				
授業形態	講義	担当	戸田				

実施回	第3回	実施日	2026/10/07 (水)	時限	3	班	
授業計画	人口（2） ①人口動態統計の指標を説明できる。 ②出生と死亡の動向を説明できる。 ③平均余命、平均寿命、健康寿命を説明できる。	予習	教科書P16～22				
		復習	教科書P16～22				
		キーワード	出生と死亡の動向、合計特殊出生率、総再生さん率、純再生産率、年齢調整死亡率、死因別死亡、周産期死亡、平均余命、平均寿命				
授業形態	講義	担当	戸田				

実施回	第4回	実施日	2026/10/14 (水)	時限	3	班	
授業計画	環境と健康（1） ①地球環境と健康について説明できる。 ②生活環境と健康について説明できる。 ③水質環境と健康について説明できる。 ④温熱環境と健康について説明できる。	予習	教科書P23～31				
		復習	教科書P23～31				
		キーワード	地球温暖化、温室効果ガス、オゾン層破壊、空気の正常成分、異常成分、一酸化炭素中毒、水系感染症、浄水法、温熱四要因、感覚温度、不快指数				
授業形態	講義	担当	宋				

実施回	第5回	実施日	2026/10/21 (水)	時限	3	班	
授業計画	環境と健康（2） ①住環境と健康について説明できる。 ②放射線と健康について説明できる。 ③環境保全と公害防止を説明できる。 ④廃棄物の分類・処理の流れを説明できる。 ⑤特別管理廃棄物の処理を説明できる。	予習	教科書P31～37				
		復習	教科書P31～37				
		キーワード	適応、順化、騒音性難聴、紫外線、放射線による生物学的作用、四大公害病、大気汚染、水質汚濁、一般廃棄物、産業廃棄物、廃棄物処理法、感染性廃棄物、バイオハザードマーク				
授業形態	講義	担当	宋				

実施回	第6回	実施日	2026/10/28 (水)	時限	3	班	
授業計画	疫学 ①疫学の定義を説明できる。 ②因果関係を判断する基準を説明できる。 ③疫学指標（指数）を説明できる。 ④疫学の研究方法を説明できる。	予習	教科書P39～46				
		復習	教科書P39～46				
		キーワード	疫学、EBM、有病率、発生率、死亡率、記述疫学、分析疫学、実験疫学、無作為比較試験（RCT）、無作為抽出法、リスク要因、相対危険度、オッズ比				
授業形態	講義	担当	宋				

実施回	第7回	実施日	2026/11/04 (水)	時限	3	班	
授業計画	感染症（1） ①感染症の成立と予防を説明できる。 ②感染症対策を説明できる。 ③感染症の種類を説明できる。	予習	教科書P47～57				
		復習	教科書P47～57				

		キーワード	感染源、感染経路、宿主感受性、飛沫感染、結核、人畜共通感染症、新型コロナウイルス感染症、検疫、予防接種
授業形態	講義	担当	戸田

実 施 回	第8回	実 施 日	2026/11/11 (水)	時限	3	班	
授業計画	感染症(2) ①院内感染とその予防を説明できる。 生活習慣と生活習慣病(1) ①健康に影響する要因を説明できる。 ②国民健康・栄養調査を説明できる。	予 習	教科書p59～60				
		復 習	教科書p59～60				
		キーワード	院内感染、標準予防策、ライフスタイル、生活習慣病、国民健康・栄養調査				
授業形態	講義	担当	戸田				

実 施 回	第9回	実 施 日	2026/11/18 (水)	時限	3	班	
授業計画	生活習慣と生活習慣病(2) ①主な生活習慣病のリスク要因と予防対策を説明できる。 がん対策・難病対策 ①がん対策基本法を説明できる。	予 習	教科書p60～62、123-124				
		復 習	教科書p60～62、123-124				
		キーワード	悪性新生物、心疾患、脳血管疾患、糖尿病、メタボリックシンドローム、特定健康診査、特定保健指導、がん対策基本法				
授業形態	講義	担当	戸田				

実 施 回	第10回	実 施 日	2026/11/25 (水)	時限	3	班	
授業計画	食品と健康 ①食中毒の分類を説明できる。 ②食中毒の発生状況を説明できる。 ③食中毒の予防と対策を説明できる。 ④食品衛生管理制度を説明できる。 地域保健(1) ①地域保健の組織と役割を説明できる。	予 習	教科書p63～67				
		復 習	教科書p63～67				
		キーワード	細菌性食中毒、ウイルス性食中毒、自然毒食中毒、腸管出血性大腸菌O157、消費期限、消費期限、食品衛生法、HACCP、食品衛生管理者、地域保健、地域保健法				
授業形態	講義	担当	戸田				

実 施 回	第11回	実 施 日	2026/12/09 (水)	時限	3	班	
授業計画	地域保健(2) ①保健所・市町村保健センターについて説明できる。 ②医療圏の分類を説明できる。 ③地域保健活動の進め方を説明できる。 ④地域保健活動の評価方法を説明できる。	予 習	教科書P69～76				
		復 習	教科書P69～76				
		キーワード	保健所、市町村保健センター、医療圏、PDCAサイクル、ストラクチャー評価、プロセス評価、アウトプット評価、アウトカム評価				
授業形態	講義	担当	戸田				

実 施 回	第12回	実 施 日	2026/12/16 (水)	時限	3	班	
授業計画	母子保健 ①母子保健の意義を説明できる。 ②母子保健活動の現状、内容を説明できる。 ③健やか親子21(第2次)について説明できる。	予 習	教科書P77～83				
		復 習	教科書P77～83				
		キーワード	母子保健法、母子健康手帳、低出生体重児、未熟児、養育医療、育成医療、妊産婦健康診査、乳児健康診査、1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査				
授業形態	講義	担当	宋				

実 施 回	第13回	実 施 日	2026/12/16 (水)	時限	4	班	
授業計画	学校保健 ①学校保健の意義を説明できる。 ②学校保健の領域、内容を説明できる。 ③学校感染症を説明できる。	予 習	教科書P85～93				
		復 習	教科書P85～93				
		キーワード	学校保健安全法、学校保健の三領域、学校三師、学校感染症				
授業形態	講義	担当	宋				

実 施 回	第14回	実 施 日	2026/12/21 (月)	時限	3	班	

授業計画	産業保健 ①産業保健の意義を説明できる。 ②産業保健の管理体制を説明できる。 ③職業病の予防対策を説明できる。 ④トータルヘルスプロモーションプランを説明できる。	予　習	教科書P107～114
		復　習	教科書P107～114
		キーワード	産業保健、労働安全衛生法、職業性疾病、産業保健の三管理、産業医、一般健康診断、特殊健康診断、トータルヘルスプロモーションプラン
授業形態	講義	担当	戸田

実 施 回	第15回	実　施　日	2026/12/21（月）	時限	4	班	
授業計画	公衆衛生学のまとめ ※第1～14回の講義資料を持参してください。	予　習	教科書P1～93、107～114				
		復　習	教科書P1～93、107～114				
		キーワード					
授業形態	講義	担当	戸田				